



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	24,231.59	-40.76	-0.17	2.86	22.61	19,762.60
NASDAQ	6,847.59	-26.39	-0.38	-0.60	27.20	5,383.12
日経225	22,819.03	94.07	0.41	1.19	19.38	19,114.37
上海総合	3,317.62	0.43	0.01	-1.08	6.89	3,103.64
滬深300(CSI300)	3,998.14	-7.96	-0.20	-2.58	20.79	3,310.08
ハンセン	29,074.24	-103.11	-0.35	-2.65	32.15	22,000.56
H株	11,449.43	-26.29	-0.23	-3.85	21.87	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.7%安と5週ぶりに反落、本土市場は1.1%安

香港市場ではハンセン指数が週間で2.7%安と5週ぶりに反落した。ハンセン指数は週初に反落して始まる週末まで5日続落と軟調な展開に終始。前週に節目の30000ポイント突破したことで目先の達成感から利益確定売りが強まった。特にテンセントをはじめとするIT・ハイテク株などが相場の下げを主導した。本土市場では上海総合指数が週間で1.1%安と3週続落。引き続き金融引き締めへの警戒感や年末に向けた資金ひっ迫への懸念が相場の重しとなったが、節目の3300ポイント割れは回避した。

今週の展望:香港市場は神経質な展開か、北朝鮮巡る地政学リスクに警戒

香港市場は神経質な展開か。先週の下落で買い戻しが入りやすい状況ではあるが、北朝鮮を巡る地政学リスクが意識される中、4日から米韓合同軍事演習が予定されており、リスクの取りにくい状況が続くそう。加えて今週は8日に中国の貿易統計の発表、週末には米国の雇用統計の発表も予定されており、ハンセン指数は29000ポイント付近での神経質な展開が見込まれる。一方、本土市場は軟調な展開か。当局による金融引き締めへの警戒感に加え、年末を控えて資金ひっ迫懸念が引き続き相場の重しとなりそう。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 恒隆地産(00101)	18.76	5.63
2 中銀香港(02388)	39.40	5.49
3 ハンセン銀行(00011)	192.70	3.71
4 ホンコン・チャイカス(00003)	15.40	2.94
5 華潤置地(01109)	22.70	2.71
6 サンス・チャイ(01928)	38.55	2.53
7 HSBC(00005)	77.90	2.10
8 東亜銀行(00023)	34.25	1.93
9 中国海外発展(00688)	24.90	1.43
10 恒安国際集団(01044)	76.00	1.33

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国平安保険(02318)	75.50	-9.85
2 瑞声科技(02018)	153.40	-9.66
3 舜宇光学科技(02382)	132.00	-7.95
4 AIAグループ(01299)	63.20	-7.53
5 テンセント(00700)	385.00	-7.41
6 中国人寿保険(02628)	25.30	-5.95
7 中国蒙牛乳業(02319)	19.98	-4.63
8 香港証券取引所(00388)	235.60	-4.62
9 華潤電力控股(00836)	14.64	-4.44
10 恒基兆業地産(00012)	50.55	-3.62

▼今週の主なイベント

- 12月8日(金)
- 【中国】貿易統計(11月)
- 【米国】雇用統計(11月)
- 12月9日(土)
- 【中国】CPI、PPI(11月)

▼今週の期待材料

- ◆ 国家統計局が発表した11月の製造業PMIは市場予想を上回る51.8、前月の51.6から改善
- ◆ 香港市場への資金流入継続、ジェフリーズによると海外からの香港株への資金流入は11週連続
- ◆ 香港の住宅価格先行指標CCLが過去最高値を更新、1日発表の最新値は前週比0.62%高の163.34ポイント

▼今週の懸念材料

- ◆ 4日から5日間の日程で米韓合同軍事演習を実施、北朝鮮と米国との軍事衝突リスクが高まる公算
- ◆ 中国当局が金融監督の強化を継続、ネット経由の少額融資業務に対する規制の強化を発表
- ◆ 中国人民銀行の公開市場操作で先週は差し引き400億円の資金を市場から吸収、3週ぶりの吸収超過

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 越秀地産(00123): 銀行から最大10億HKドルの融資枠を獲得、融資期間は3年
- ☆ 中国光大控股(00165): 分衆伝媒情報技術の株式売却、13.7億HKドルの収益計上
- ☆ ネットドラゴン(00777): 6日に7-9月期決算を発表、市場予想は黒字転換
- ☆ 天津発展(00882): 傘下の力生製薬が債務超過の新冠製薬を5.3億元で売却
- ☆ CNOOC(00883): OPEC加盟国とロシアが原油協調減産の延長で合意
- ☆ BYD(01211): 沖縄に電気バス「K9」を10台納入、日本では京都に次ぎ2カ所目
- ☆ 広州富力地産(02777): 11月の不動産販売額が2.2倍に拡大、1-11月は31%増
- ◇ エン州煤業(01171): イータイ・コールの鉄道子会社・准東鉄路に25%出資
- ★ キャセイ・パシフィック(00293): 4日付でハンセン指数構成銘柄から除外
- ★ イオン・ストアーズ(00984): 17年12月本決算はコスト増で赤字拡大の見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。